

AlmaとPrimoの統合の概要

AlmaとPrimo VEの統合に関するトレーニングセッションへようこそ

このセッションでは、AlmaがPrimoと連携して

ユーザーに図書館のコレクションへのアクセスを提供する方法を学習します

PrimoとAlmaの両方でリソースがどのように表示されるか

Primoでは、関連するインベントリ/利用可否情報がユーザーに

どのように表示されるかをご紹介します

また、ユーザーがリクエストを送信したり

図書館カード情報にアクセスする方法もご紹介します

図書館コレクションには、機関ゾーンとネットワークゾーンにあるデータ、

Almaにアップロードしたレコード、

コミュニティゾーンからアクティベートしたレコードが含まれています

Primoは、これらのディスカバリーインターフェイスとして機能します

Primo VEは、Almaプラットフォームを利用して、AlmaとPrimoの統合を最適化します

図書館はPrimo VEを通じて、AlmaとPrimoの両方を同じインターフェイスで管理できます

Almaでローカルレコードを管理すると

レコードはインデックスされ、15分以内にPrimoユーザーインターフェイスにも表示されます

Primo VEで実行された設定変更は、Primoユーザーインターフェイスにすぐに反映されます

Almaでいくつかレコードを見てから、Primoでユーザーにどのように表示されるかを見てみましょう

Almaでアイテムを検索し、この[物理的]リンクをクリックすると、その所蔵を確認できます

Almaからディスカバリーのレコードに直接移動することも可能です

また、レコードを編集すると

メタデータエディターでMARCデータを表示/編集できます

Primoでは、同じレコードを検索して、情報が同様に表示されているかを確認できます

ここでは、[資料を入手する] (Get It)セクションで所蔵情報を確認できます

リソースの詳細については、[詳細]セクションを参照してください

別のレコードを見てみましょう。今回は図書館とオンラインの両方で利用できるレコードです

Almaに2つのレコードがあることにお気づきでしょう

1つは印刷物で、もう1つは電子書籍です

電子書籍の場合、[電子]リンクを選択すると、アクセス情報が表示されます

物理的アイテムについても、所蔵情報が表示されます

Primoでは、同じ検索で1つの結果が返されます

電子的/物理的所蔵の両方が結合されたレコードです

[オンラインで見る] (View It)セクションには、このコレクションの電子書籍へのリンクがあります

[資料を入手する] (Get It)セクションには、本の配架場所が表示されます

ユーザーはPrimoでリソースを見つけるだけでなく、自分のアカウント情報にアクセスすることもできます

図書館のアカウント情報を確認したい場合は

自分の名前をクリックし、[My Library]を選択します

この画面から、自分が借りている資料や、

罰金および手数料、リクエスト、ブロックやメッセージなどを確認できます

ありがとうございました